

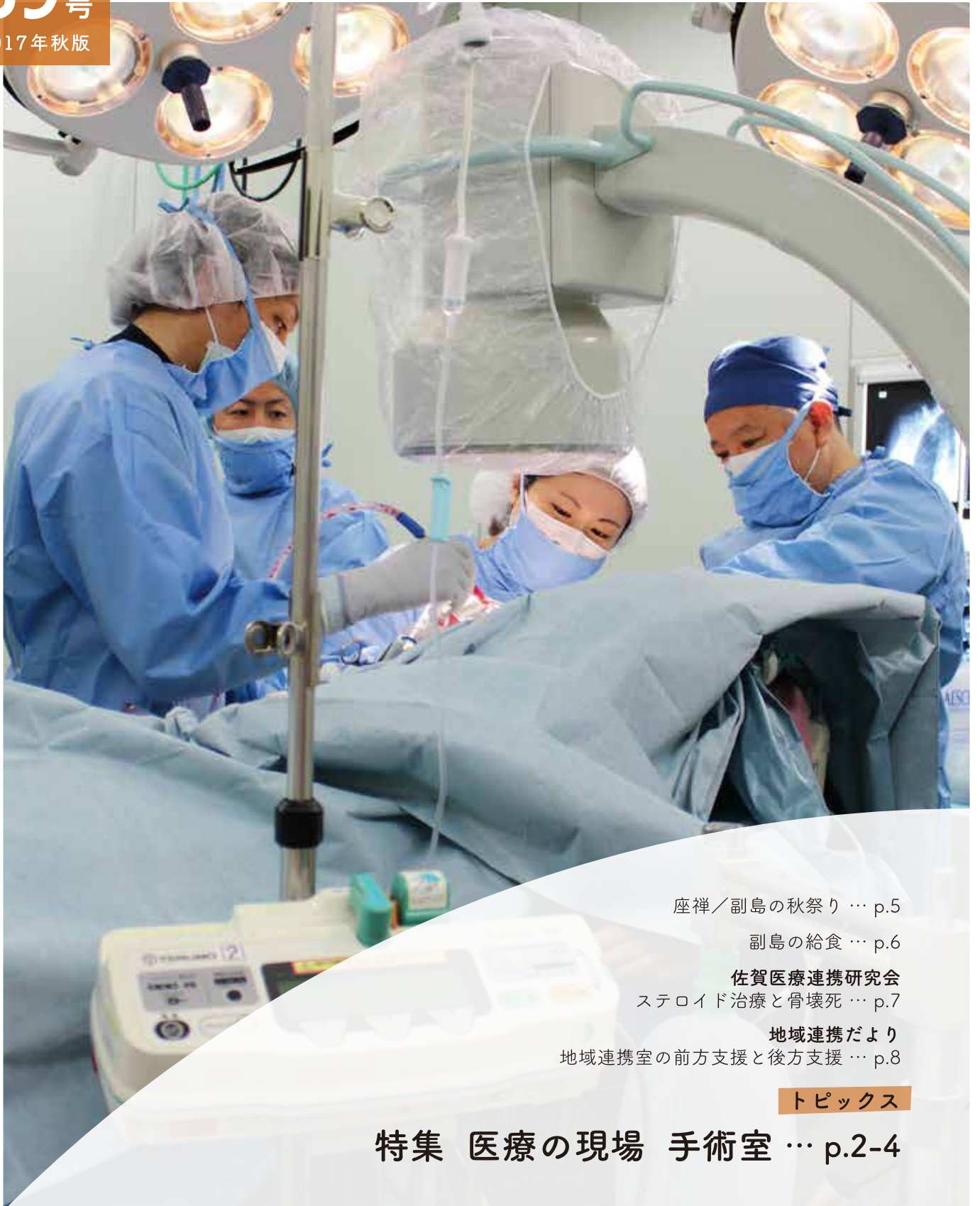
特定医療法人 整肢会

副島整形外科だより

開業124年。地域に寄り添いみなさまの健康を支えます

39号

2017年秋版



座禅／副島の秋祭り … p.5

副島の給食 … p.6

佐賀医療連携研究会
ステロイド治療と骨壊死 … p.7

地域連携だより
地域連携室の前方支援と後方支援 … p.8

トピックス

特集 医療の現場 手術室 … p.2-4

第二回 手術室

第一回では副島整形外科クリニックの外来を特集した「リポート*医療の現場」、今回は副島整形外科病院の手術室です。整形外科の手術は主に身体の不自由な部分を、現状よりもいい状態に持っていくことを目的とした前向きな行為です。しかし初めての経験で不安に感じる患者さんもおられます。そこで少しでも不安を解消して頂けるよう、入院から手術までの流れや手術中の様子をご紹介します。

おことわり
掲載内容は医療法人整肢会での手術の一例です。医療機関や科、ケースにより内容は異なります。

手術までの流れ

患者さんご本人の流れ

検査を受ける

まずは安全な手術のための検査です。検査結果は麻酔や手術の際のリスクを回避するための判断材料となります。免疫力が低下している、血圧が高い、持病が安定しないなどの場合は術前にコントロールし、状態を整えます。



予診、入院説明

看護師が患者さんについて色々伺います。スタッフはこの内容をもとに治療時の注意点を確認したり、手術内容の調整や術後のケアを計画します。



入院



医療スタッフの動き

診療放射線技師

検査：X線撮影

臨床検査技師

検査：心電図、呼吸機能、血液、尿検査

理学療法士

部位の計測

術後のリハビリ計画のため、関節が動く範囲などを計測。

外来・手術室看護師

患者さん情報の聞き取り

麻酔科医

診断

個々の患者さんにとって最適な麻酔方法や薬剤を選択するため、カルテやレントゲン画像などの検査情報、持病や治療中の病気、アレルギーの有無、手術の部位や患者さんの希望といった事柄を確認。



手術室看護師

機器の発注

医師の指示のもと、手術に使用する機器を業者さんに発注。



手術当日

一言ナビ!

食べたものが、麻酔中に逆流し気管に入り肺炎を起こすなどの危険を回避するため、**当日は絶食**です。

準備

着替え、点滴開始、各種測定、トイレを済ませるなど、手術を受けるための準備をします。



手術室へ入室

病棟から手術室の前室、乗り換えホールへ向かいます。取り違え防止のため患者さんご自身に氏名と手術部位をおっしゃって頂き、その後手術室へ移動します。

一言ナビ!

手術時間+麻酔時間=手術室にいる時間。
手術と別に麻酔をかけたり覚ましたりする時間も要します。

麻酔の開始

麻酔が全身に効いてくると眠っているような状態に入ります。痛みはもちろんですが、手術中の音なども聞こえないので、患者さんの体はリラックスしています。



病棟看護師

手術前準備

体温や血圧、酸素飽和度の測定や顔色の確認などを行い、点滴を開始。手術中の主治医による確認に備え、患者さんの全ての術前データを揃えておく。

手術室看護師

患者さんの引き継ぎ

手術室の看護師は乗り換えホールにて病棟の看護師より患者さんご本人の術前データを引き継ぐ。ネームバンドの確認などを行った後、患者さんと共に乗り換えホールから手術室へ移る。



麻酔科医

麻酔をかける

麻酔がかかるまでの時間や効果は個々により異なる。麻酔が浅いと患者さんが無意識に体を動かしてしまい、深過ぎれば血圧の低下や呼吸停止を招く。麻酔科医には、それぞれの患者さんに最適な麻酔コントロールが求められる。手術の間も安定した状態を保つため監視を続ける。





副島
職員の
活動報告

座禅

7月に白石町の曹洞宗 佛日山 陽興寺で開催された座禅会に参加しました。ご住職が職員向けに座禅会を開いて下さるのは今回で二度目です。

座禅はお尻と両膝で土台を作り、その上に上体を立てます。体重がまっすぐ落ちる点を探るのが難しく、自然な座位を取れなかったメンバーは後日、筋肉痛が出たようです。

座禅は精神の修行だと思っていました。バランスのいい座位を取ることで、腹腔に内臓がうまく収まり、血流を促し体の調子が整うのだそうです。帰りは皆の背筋がすっと伸びていて清々しい表情でした。

背筋を伸ばす体位はいつでも取ることができるので、日常で意識してみようと思いました。



秋祭り



9月9日、涼しさを感じ始めるこの時期に、副島整形外科スタッフ間の親睦を目的とした、毎年恒例の秋祭りが開催されました。

近年は、子ども達の参加が多くなり、綱引き大会や流しそうめんなど、子どもと大人が一緒に楽しめる企画が目白押しです。水田看護部長兼レクリエーション委員長の企画運営にて今年も大変盛り上がりました。

特に今回はピザ・広島風お好み焼き・豚汁などの、ちょっとしたこだわった手作り料理が屋台に並び、大人も子どもも大満足でした。

真夏のお祭りも良いですが、秋に開催するのもオススメです。

●執刀医・助手

手術

骨折の修復・内固定や腱断裂の縫合、人工関節の設置、関節鏡を用いた組織の再建や病変の切除など、症状に応じた処置を行う。

●手術室看護師

手術補助

直接介助は、使用する機器の準備や執刀医への器具の手渡し、間接介助は、点滴や出血、尿量の計測、麻酔科医の補助や室外との連絡といった役割を担う。

●診療放射線技師

確認：X線撮影

術中・術後の骨や関節の状態、患部に固定した器具の位置に問題がないか等を画像で確認。

●麻酔科医

麻酔を覚ます

意識レベルや心拍数、血圧が安定するまで状態を診る。

●手術室看護師

退室の準備

患者さんの着替え等をサポート。病棟看護師への、術中情報などの申し送りの準備。

●病棟看護師

患者さんの引き継ぎ

乗り換えホールにて患者さんを手術室看護師から引き継ぎ、病棟で術後の経過観察を行う。

●主治医または執刀医

家族説明

待機されているご家族に手術結果を説明。



●執刀医

手術記録作成

患者さん、ご家族の方へ 手術に際しては患者さんご本人やご家族に内容をご説明していますが、疑問点や知りたいことがありましたら、ぜひ遠慮なく医師や看護師にお尋ね下さい。またご家族の方には、手術中及び医師による術後の説明までは病院内に待機して頂いております。ご協力よろしくお願い致します。

手術中

手術は主に執刀医、助手（医師）、直接介助（看護師）、間接介助（看護師）、麻酔科医、という編成で行います。



手術終了、覚醒

手術の終了に向かって徐々に減らした麻酔薬が、やがて覚め始めます。麻酔科医や手術室の看護師は、声掛けにより患者さんの覚醒具合を確認めます。麻酔がほぼ覚めるまで、手術室にて安静に待ちます。

手術室退室、病棟に戻る

手術室から移動ベッドで病棟に戻ります。手術後は患者さんの血圧や心拍などが安定するまで、看護師が状態をこまめに確認します。



副島の給食

「ご当地メニュー」
 栄養科の今年の献立テーマは「ご当地メニュー」。
 患者さんに楽しんで頂けるよう各地の名物を再現し
 ました。皆さんはいくつ食べたことがありますか？

2017*春夏編

鹿児島県奄美大島

きゅうりのしそ和え
すいか
鶏飯
さつま揚げ

7/3(昼) 鶏飯 ほうじた鶏肉、椎茸、錦糸卵などの具材と薬味を乗せたご飯に鶏ガラでとったスープをかけたもの。400年の歴史を持ち、当時は鶏を余すところなく使いました。

山口県下関市

梅ゼリー
瓦そば
米茄子の味噌かけ

6月12日(昼) 瓦そば 本来は茶そばを本物の瓦で焼きます。上に甘辛い牛肉と錦糸卵を乗せ、めんつゆで頂きます。

佐賀県白石町

すこずし
ほうれん草のわさび醤油和え
デラウェア
魚の磯辺揚げ
お吸い物
須古寿司

6/29(昼) 須古寿司 広げた寿司飯に具材を彩り豊かに盛りつけ、へうで切り分けます。白石町須古地区に古くからあり、祭りや祝いの席で振舞われます。

岩手県盛岡市

巨峰
夏野菜の揚げ浸し
じゃじゃ麺

7/18(昼) じゃじゃ麺 盛岡三大麺の一つできゅうりや肉味噌を乗せます。通常は食べる前に好みでラー油やニンニク、酢などを加えます。自分好みに食べられるのも魅力の一皿。

熊本県熊本市

オレンジ
骨!骨! ライスバーガー
タイビーエン

4月24日(昼) 太平燕 タイビーエン 元々は中国福建省の料理です。スープに春雨、豚肉、キクラゲ、卵などが入った具沢山メニュー。

第8回 佐賀医療連携研究会



演者紹介 福岡大学医学部整形外科学教室
主任教授 山本卓明先生
 九州大学、大学院を卒業後、日本学術振興会よりアメリカへ留学。昨年4月に教授に就任。股関節疾患を専門に研究、治療を行う。

「ステロイド治療と骨壊死」 ～現状と対策～

平成29年8月7日(月)開催

医療知識の向上を目的に開催する

佐賀医療連携研究会、今回の特別講演にも近隣にて交流のある医療・介護に従事する方々が多数参加下さいました。この日はステロイドと骨壊死との関わりについて股関節専門医の山本先生にお話を伺いました。効果の高さから医療に欠かせないステロイドですが、使用による身体への影響等、現在どのようなことが明らかになっているのか、講演内容を要約してご紹介します。

ステロイドとは

1948年に生まれたステロイド薬は発見の2年後にノーベル医学賞を受賞します。この異例のスピード受賞はステロイドに大きな期待が寄せられて

いたことの表れと言えるでしょう。

ステロイドは膠原病、2003年に蔓延したSARSなどを含む呼吸器疾患、腎疾患などの治療になくてはならず、炎症を抑えたり、自己免疫の異常な働きを抑制する効果に優れています。

大腿骨頭壊死症について

大腿骨頭壊死症は1975年以来、厚生労働省が認定する指定難病(一)です。この疾患は大腿骨頭部の動脈に閉塞が起こり壊死が発生すると考えられています。壊死自体に痛みなどの自覚症状はありません。壊死が発生し十数年の時間を経て、骨頭が潰れ股関節の変形や骨折が起こるなどして痛みが出現することにより発症します。壊死の

範囲は個々異なり、後年痛みが出る確率も壊死の大きさにより異なります。

ステロイドと大腿骨頭壊死症

現在日本では年間3000人が大腿骨頭壊死症を発症、10万人に25人の計算です。研究が進み、現段階では関連因子にアルコールやステロイドが挙げられています。しかし罹患率も高くないため、ステロイドによる副作用とは断言できない状況です。以下症例を紹介いたします。

ステロイドとの関連が考えられる症例として、ある30代の男性は腎臓移植後、およそ6週間後の画像検査で大腿骨頭部の骨壊死が確認されました。手術時にパルス療法(ステロイド治療の一つ)を受けています。

アルコールの例では1987年にメディアが、かの昭和の国民的歌手の両側大腿骨頭壊死症を報じました。患者は酒を多量摂取する習慣がありました。その他、患者の感受性(薬に対する反応の強弱)もまた、骨壊死の発生に関わると考えられており、研究機関がこれまでにおよそ1600例の患者のDNAを2年かけて解析、関連因子と

考えられる遺伝子の発見に至りました。今後の研究の成果が待たれます。

骨壊死の予防策

ステロイドを使用する場合でも、1日あたりの使用量をコントロールするか、既存の脂質代謝薬、抗凝固薬、抗酸化薬、以上の3種薬剤全てをステロイドと併用することが、骨壊死発生の確率を下げると言われています。

* 指定難病...原因や治療法がはっきりしておらず、国が研究・医療費控除の対象と定める疾患。
患者の皆さんへ

ステロイド薬の使用量は治療する病気により差があります。自己判断での増減は治療に影響しますので、主治医の判断のもと行って下さい。



地域連携室の、

前方支援と後方支援の話。

室長の吉原です。今回は地域連携室の役割の中でも「前方支援」、「後方支援」と呼ばれる業務についてご紹介します。



ご相談ください

- 介護保険や障がい者福祉制度について知りたい
- 介護福祉サービスの利用について知りたい
- 退院後の生活が不安
- 施設の入所について
- などなど、地域連携室にご相談を。

前方支援とは

- ① 医療機関や介護施設、居宅ケアマネージャーからの診療相談の受付。
- ② 他院からの転院相談の受付や転院調整。
- ③ かかりつけ医療機関への情報問合せや結果報告。
- ④ 医療機関や施設での訪問説明といった広報活動。

後方支援とは

- ① 退院支援……退院後に安心して在宅復帰できるような支援。例えば利用できる在宅ケア等の情報を収集し、院内や他機関と共に患者さんの状態に最適なサービス内容を検討その利用を支援する等。
- ② 医療・福祉の相談……介護保険制度の説明や利用のための支援。



イラスト：大庭



≡ 特定医療法人 整肢会 ≡



副島整形外科病院
 佐賀県武雄市武雄町大字富岡 7641 番地 1
 ☎ 0954-20-0388 FAX:0954-20-0377



副島整形外科クリニック
 佐賀県武雄市武雄町大字富岡 7724 番地 1
 ☎ 0954-22-2155 FAX:0954-23-4275

編集後記

実はこの広報誌、写真撮影からイラストに至るまで、全て副島整形外科スタッフが協力して制作しています。毎号、手作りならではの想いが詰まっています。次回、新春号もお楽しみに！

広報委員 岩坂